



八小だより

武蔵村山市立第八小学校 令和3年3月25日

<http://www.city.musashimurayama.lg.jp/mmced8s/index.html>

教育目標

- ◎ 考える子
- 思いやりのある子
- やりとげると
- 礼を重んずる子

行動目標

わけをそえて話すことができる子
教室で話しているのは一人

1年間ありがとうございました

校長 牧 一彦

3月24日水曜日、令和2年度第45回卒業証書授与式を挙行いたしました。

今回の卒業証書授与式は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた市の方針に則り、卒業生とその保護者、教職員のみによる簡素化した形での実施となりました。例年行っていた巣立ちの言葉(呼びかけ)につきましては、当日の実施を見送り、事前に学年のみで行ったものを録画し、保護者限定で配信する形を採りました。平成26年度から徳育科として礼儀・マナーについて授業で指導を重ねている本校では、全ての卒業生が、証書授与における所作や礼法を、滞りなくやり遂げ、大変立派な態度で巣立っていくことができました。素晴らしい子供たちでした。式への参加や進行に当たりましては、保護者の皆様には、多大なる御理解と御協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

また本日、令和2年度修了式を実施しました。こちらもコロナ対策に伴い、全校を集めて行うことができないため、テレビ放送での実施となりましたが、各クラスの代表児童に修了証を手渡すことができ、よかったですと思います。

今改めて振り返ってみますと、この1年はまさにコロナに振り回された1年間でした。年度当初から約2か月間の臨時休校を経て、完全に学校が再開できたのは6月8日でした。その後の10か月間は、そのブランクを取り戻すために、授業や行事を詰め込み、子どもたちも教員たちも、息をつく間もなく突っ走ってきました。それに加えて、感染症拡大防止対策は常に意識し、決して緩めることはできません。なので、子どもたちにも教員たちにも、常に一定のストレスがかかり、疲れが溜まってきているように感じました。会話のできない給食時間、しんと静まりかえった教室には、スプーンと食器が触れる音だけが響きます。何ともいえない異様な光景です。私が教室を覗きに行くと、「こんにちは」と、その時だけマスクを付けて話してくれます。「マスク無しでは、会話をしてはいけません」というマスク会食のルールは、大人たちよりも徹底できているのに驚きます。何としても学校内でクラスターを発生させてはいけない、という意識で子どもたちも教員たちも頑張ってきたのです。こんな生活をいつまで続けなくてはいけないのかと、やりきれない思いに駆られます。

明日から本校は春季休業に入ります。緊急事態宣言は解除されましたが、まだまだ感染症対策を緩めることはできません。御家庭におかれましても、外出時にはマスクを着用することや、大人数での会食を控えるなど、引き続き十分な対策をとってくださるようお願いいたします。また万が一、お子さん本人や御家族が新型コロナウイルス感染症に罹患した場合は、速やかに学校へも御一報くださるようお願い申し上げます。

1年間、本当にありがとうございました。次年度も引き続き御理解と御協力をくださるよう、よろしくお願い申し上げます。

のびゆく子(通知表)について

- 脱ハンコ化に伴い、押印欄及び修了証の校印を省略させていただきました。
- 長期欠席等により成績を出せないところは、空欄にせず、「斜線」を付しています。
- 新型コロナウイルス感染症への感染等を恐れて登校しない場合は「欠席」とせず、出席停止扱いにしています。(備考欄には「その他」若しくは「コロナ関連」と表記)しています。